


※  内はロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損・落下による人への被害、物的損害が想定されますので下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。
- ・本製品は木造住宅の2階以下に取付ける設計となっております。3階以上の高所には取付けないでください。
- ・崖っぷちなどの高低差のある場所には設置しないでください。

●躯体への固定

- ・母屋の構造材が入っている場所へ取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締付けてください。

●絶縁処理について

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

●施工上について

- ・施工は専門業者が行ってください。
- ・水平、垂直、対角は正確に測ってください。施工、開閉に支障がでるおそれがあります。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・強風(10m/s以上)の時、又は突風が予想される場合は、必ずスクリーンを巻取ってください。

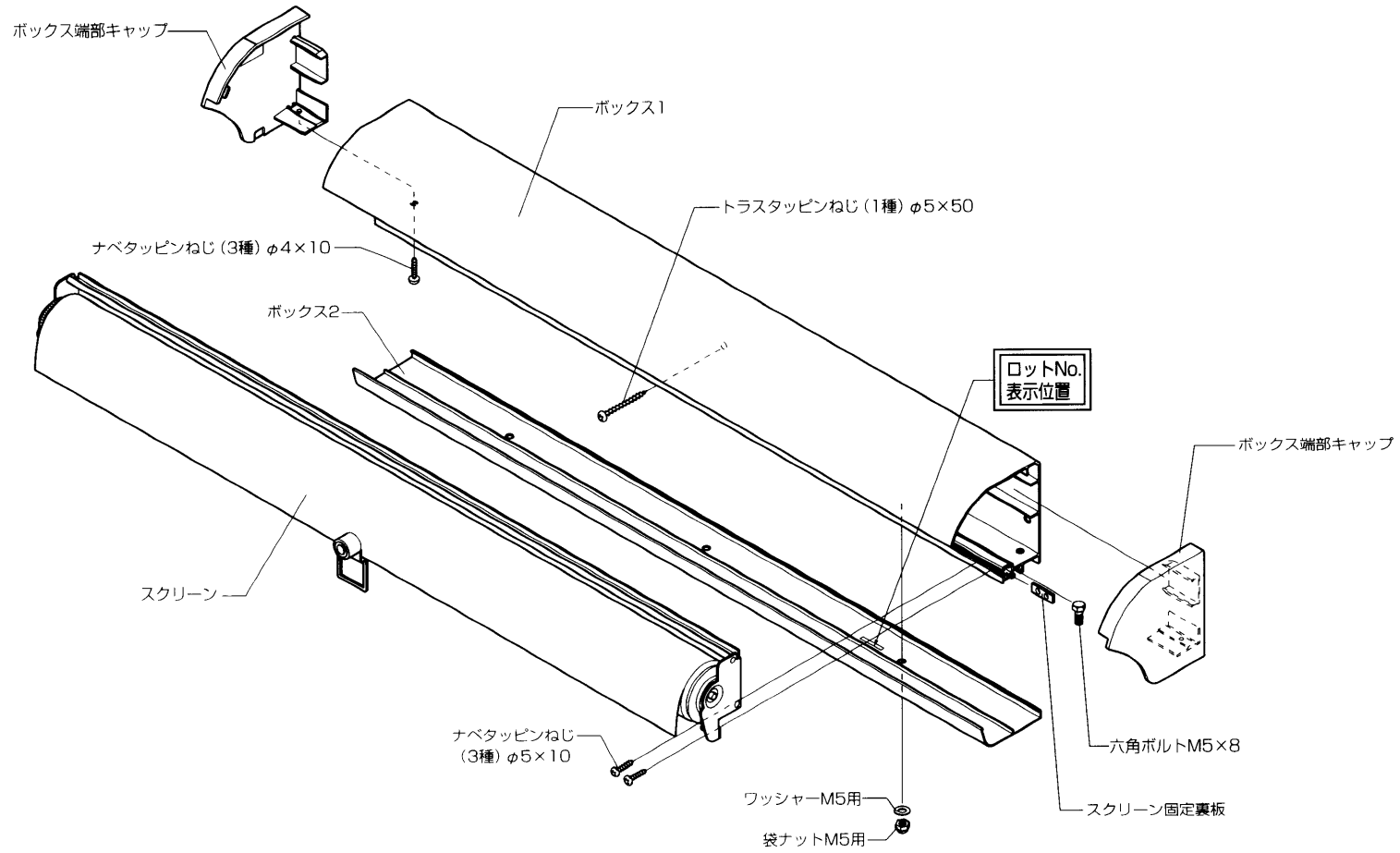
●完了時の注意事項

- ・ボルト及びねじ類に緩みやがたつき、その他使用上危険な個所などがないか点検してください。
- ・製品の外観に有害なキズ・ヘコミなどがないか確認してください。
- ・取扱い説明書に基づき、製品の使い方(施錠・電装品の操作方法など)や保守・点検方法及びメンテナンス方法を必ず施主様へ説明してください。

※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。

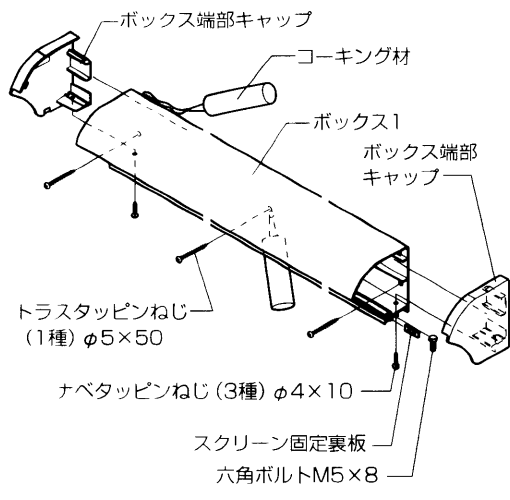
■構成図



■取付け順序

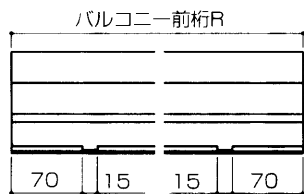
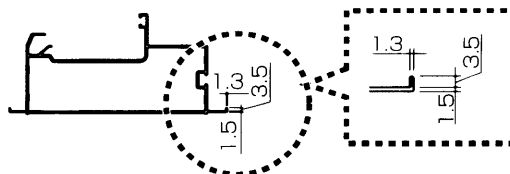
1 ボックスの取付け
(壁付けタイプ)

- ①躯体にトラスタッピンねじ(1種)φ5×50でボックス1を取付けます。
※必ず柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- ②ボックス1の下面に六角ボルトM5×8(1~1.5間用3本、2間用4本)、スクリーン固定裏板(スクリーン1本に対して2個)を差込み、ボックス端部キャップを取付けます。



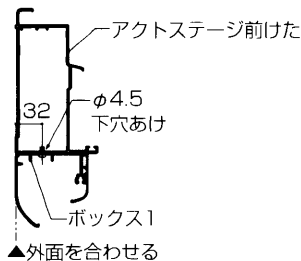
※ブロードステージA型の場合

- ブロードステージ前桁フィンの両端を切欠いてください。

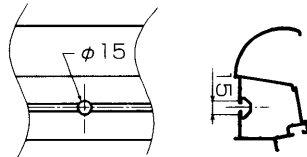


(ナーラテラス(桁仕様)バルコ取付けタイプ)

- ①ボックス1・2を図のように加工します。
- ②ボックス1に六角ボルトM5×8(1~1.5間用3本、2間用4本)、スクリーン固定裏板(スクリーン1本に対して2個)を差込み、ボックス端部キャップを取付けます。
- ③ボックス1をテラス前枠、バルコニー前桁に取付けます。(アクトステージの場合、ボックスの加工穴に合わせて、φ4.5の下穴を開けて取付けてください。この時、ボックス1と前桁の外面が合うように取付けます。)



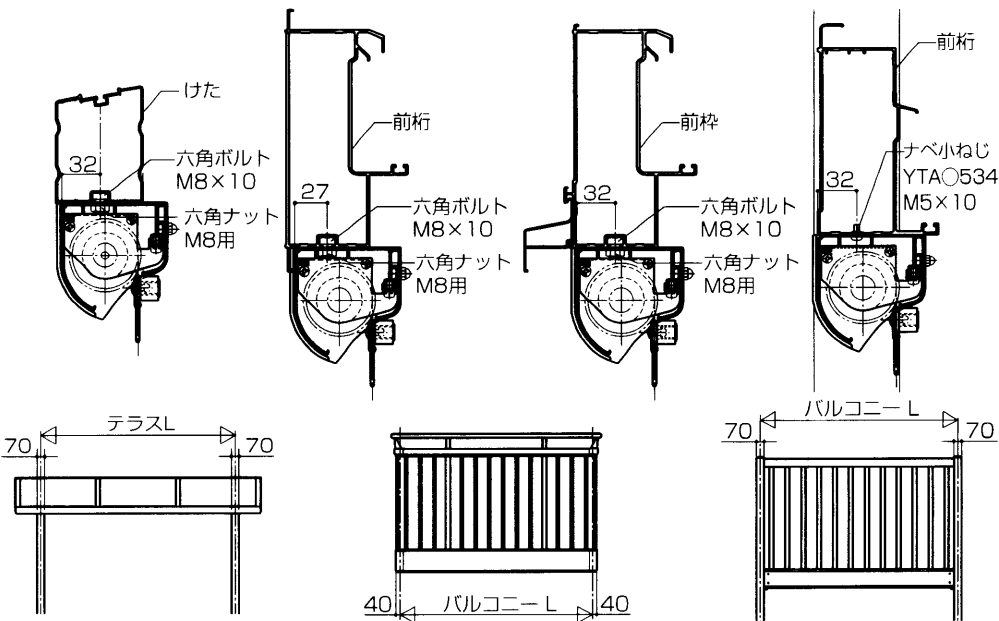
※テラス、ブロードステージに後付けする場合は、下図のようにボルトホール部にφ15の加工をしてボルトを差込んでください。(加工位置はボックス取付けボルト位置と重ならないように気を付けてください。)



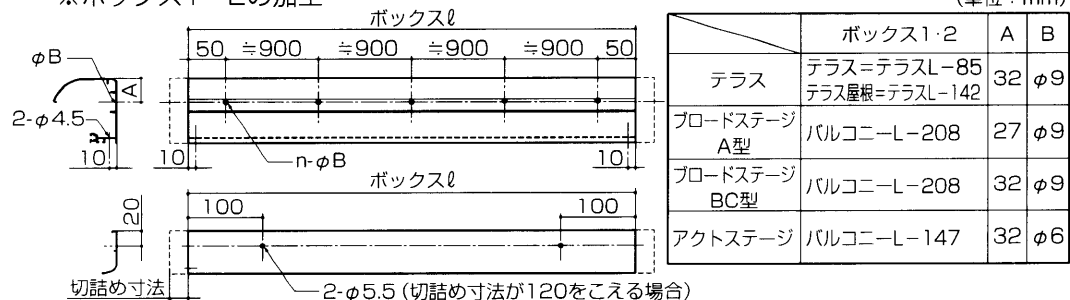
(ライザー/セイバー/アルファテラス取付けタイプ)の場合

- ①ボックス1・2を図のように加工します。
- ②前枠に後付け用固定ボルト(1間用:6個、1.5間用:8個、2間用:10個)を挿入後、柱固定金具スペーサーを差込んで下さい。
- ③ボックスのn-φ9加工穴に後付け用固定ボルトをはめて、ナットで締めてください。(右図参照)

●ナーラテラス(桁仕様) ●ブロードステージA型 ●ブロードステージB、C型 ●アクトステージ

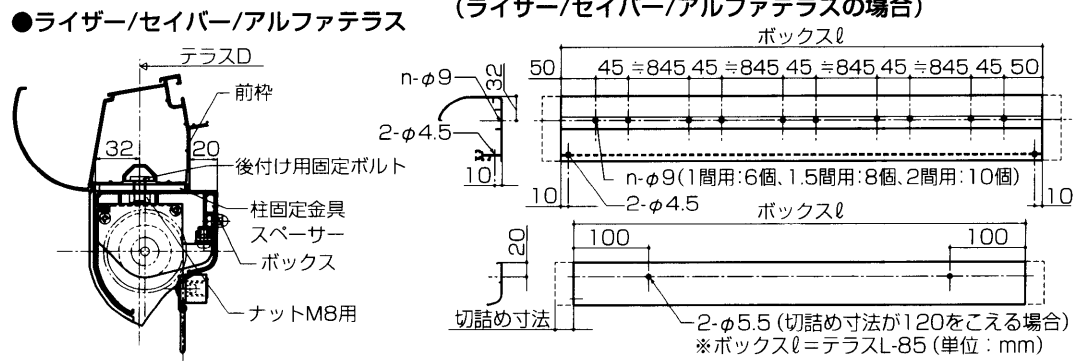


※ボックス1・2の加工

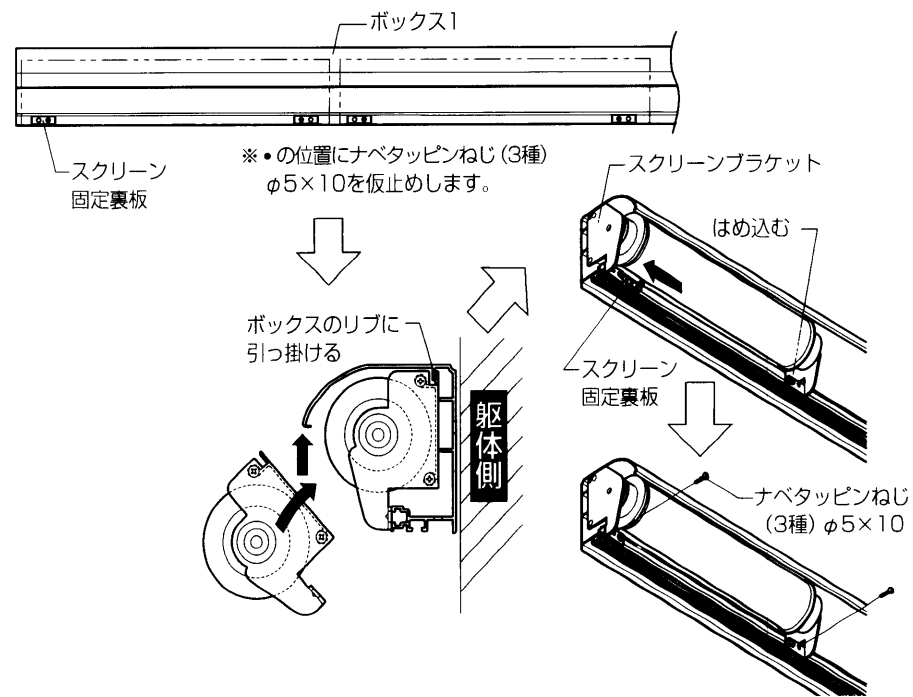


■ボックス1・2の加工

(ライザー/セイバー/アルファテラスの場合)



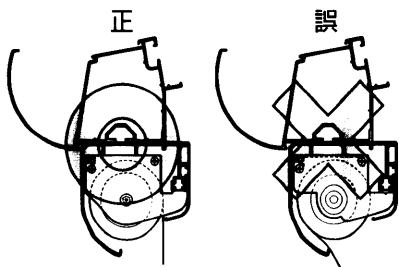
- ①右図に示すように、スクリーン固定裏板にナベタッピンねじ(3種)φ5×10を仮止めします。
- ②ボックス1のリップにスクリーンを引っ掛け、スクリーンブラケットにスクリーン固定裏板に仮止めたねじをはめ込みます。
- ③スクリーン固定裏板のもう一方の穴にナベタッピンねじ(3種)φ5×10をねじ込み、仮止めのねじを本締めします。



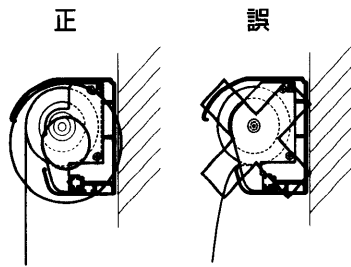
■スクリーンのタイプ

※壁付けタイプの場合は、壁付け用スクリーンセット(逆巻き)を、テラス・バルコ取付けタイプの場合は気象鳥用前面スクリーンセットを取付けてください。壁付けタイプに気象鳥用を取付けると、スクリーンがボックスに干渉し、巻き上げ不良につながります。

テラス・バルコ取付けタイプの場合

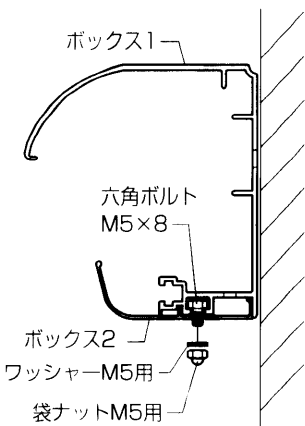


壁付けタイプの場合



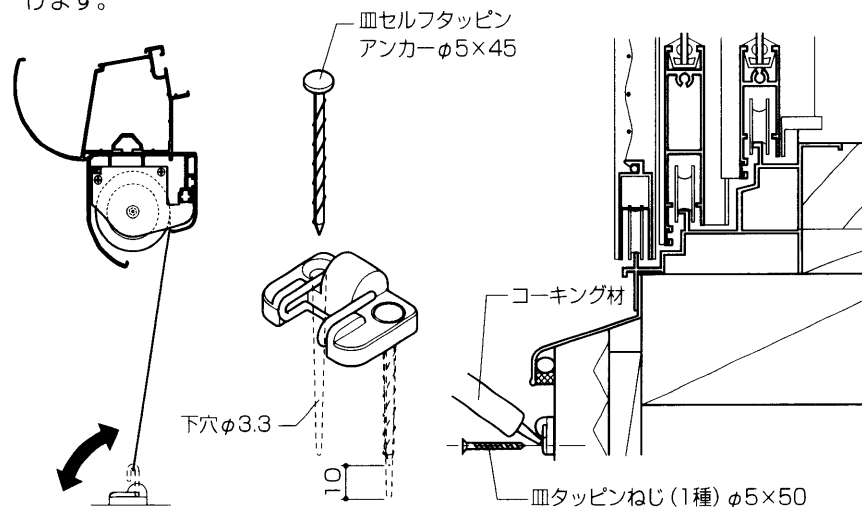
■3 ボックス2の取付け

- ボックス1にボックス2をはめ込み、ボルト止めします。



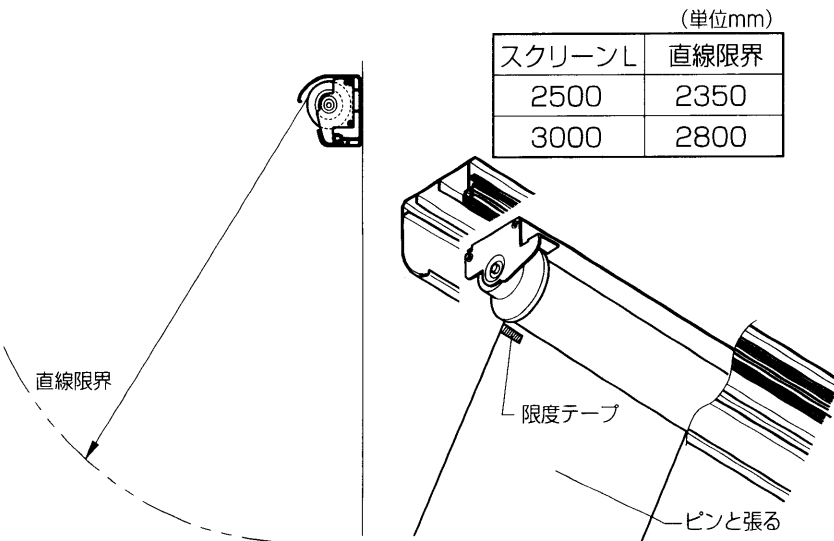
■4 フック金具の取付け

- スクリーンフック金具を土間に取付けます。
- (土間に固定する場合) (間口下に固定する場合)



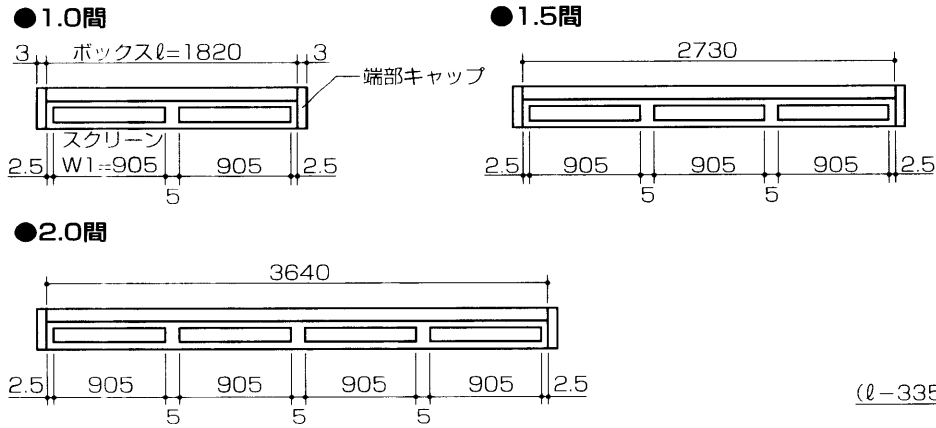
■スクリーン取付け制限

- 直線限界を超える距離での固定は行わないでください。製品破損につながります。
- 直線限界…生地をピンと張った状態で限度テープが見える距離

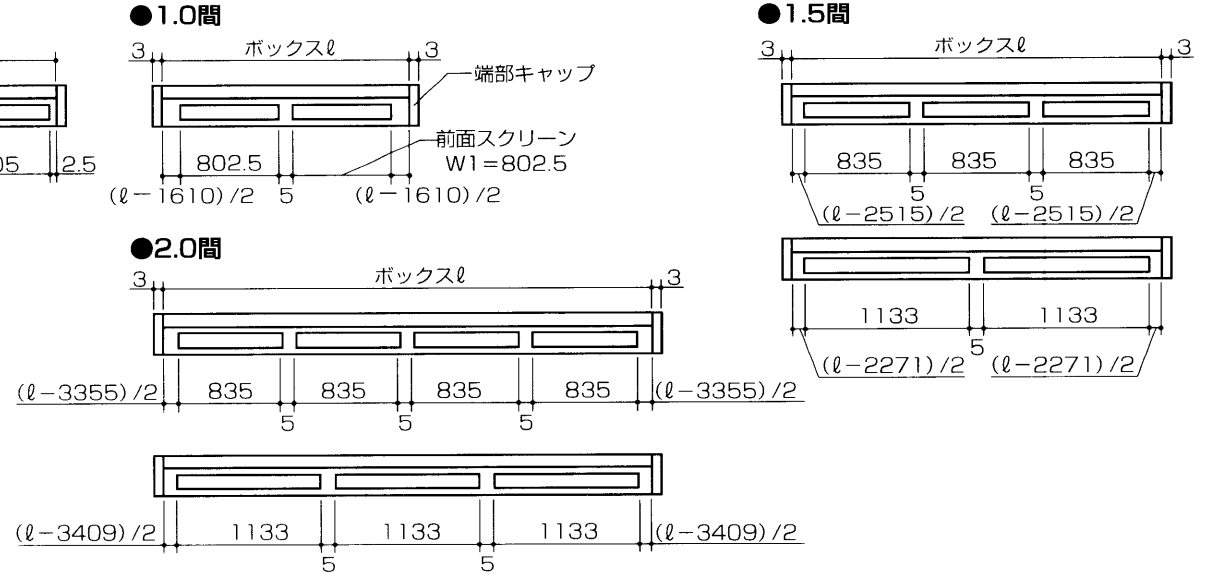


■スクリーン取付け図

〔壁付けタイプ〕



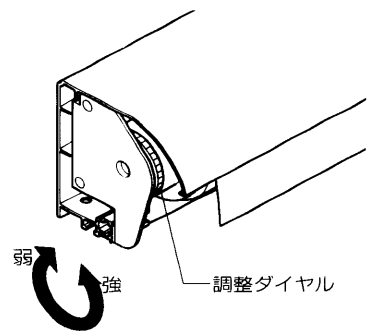
〔テラス・バルコ取付けタイプ〕



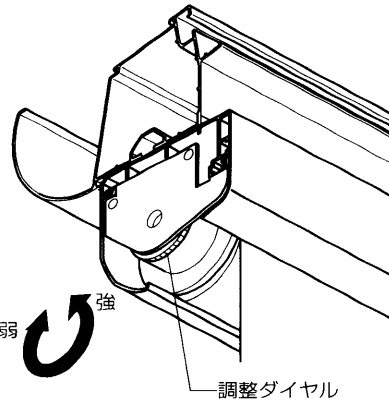
■スクリーン巻上げテンションの調整

- 巻上げテンションを調整する場合は、調整ダイヤルを回します。
「強」方向→巻上げ力が強くなります。
「弱」方向→巻上げ力が弱くなります。

〔壁付けタイプ〕

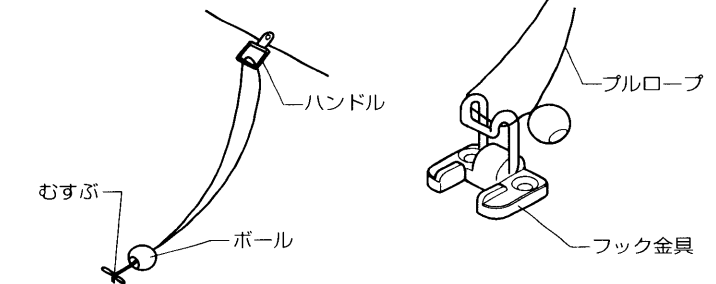
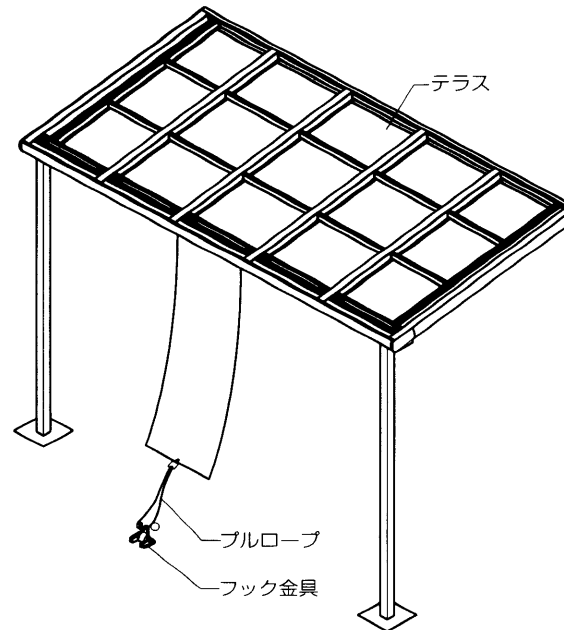


〔テラス取付けタイプ〕

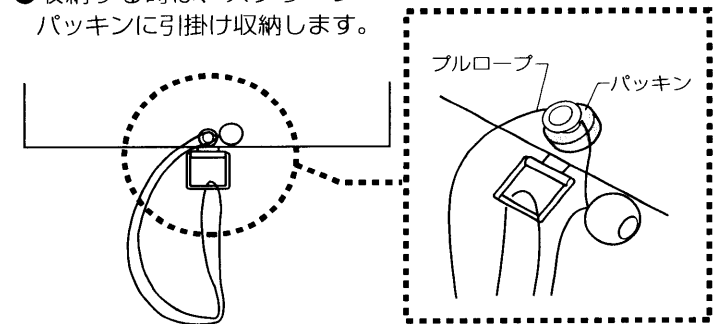


■プルロープの使用法

- 土間フック仕様などでスクリーンを途中で止めて固定したい場合は、プルロープを使用します。
- プルロープをおこのみの長さにカットし、ハンドル、ボールに通して結びます。
- 固定する時は、フック金具に引っ掛け固定します。



- 収納する時は、スクリーンパッキンに引掛け収納します。



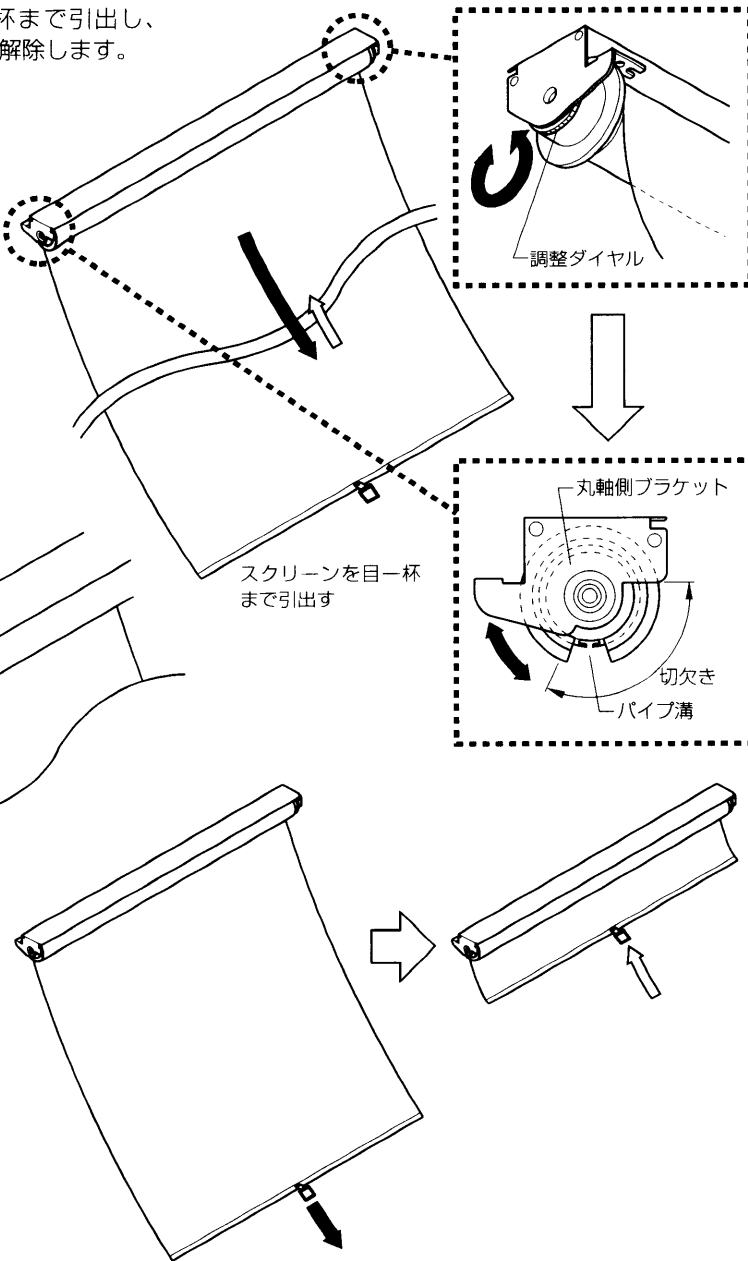
■スクリーンの交換方法

①スクリーンを目一杯まで引出し、
巻取りテンションを解除します。

②調整ダイヤルを回し、スクリーンの
巻取りパイプ溝が丸軸側
ブラケットの切欠きの位置に
くるように調整します。

③スクリーンを横から
スライドして引出し、新しいスク
リーンと交換しま
す。

④スクリーンを再度
引っ張り、巻取り
テンションを復活
させ、スクリーン
を巻取ります。



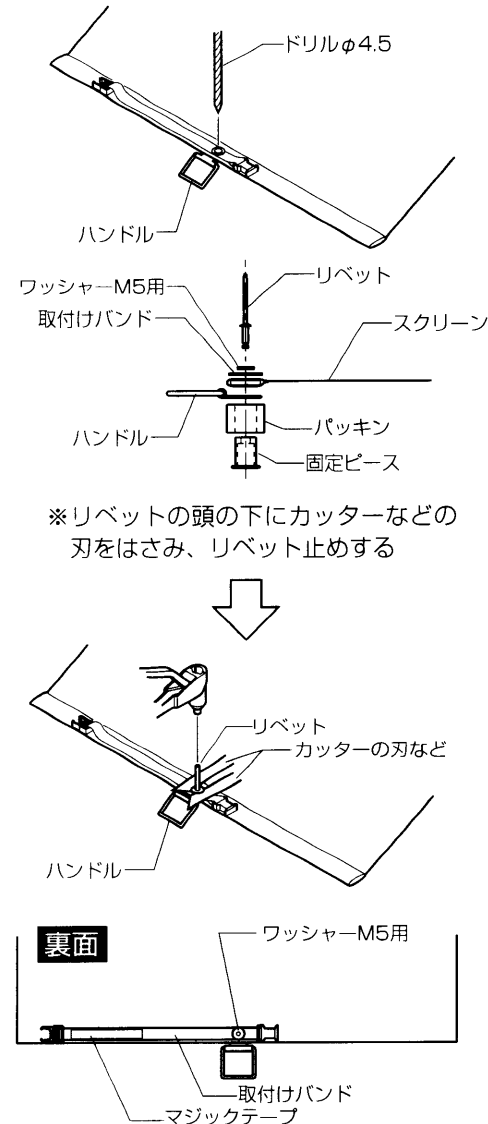
■取付けバンドの交換方法

①ハンドルをとめているリベットにドリルφ4.5で穴をあけて外します。

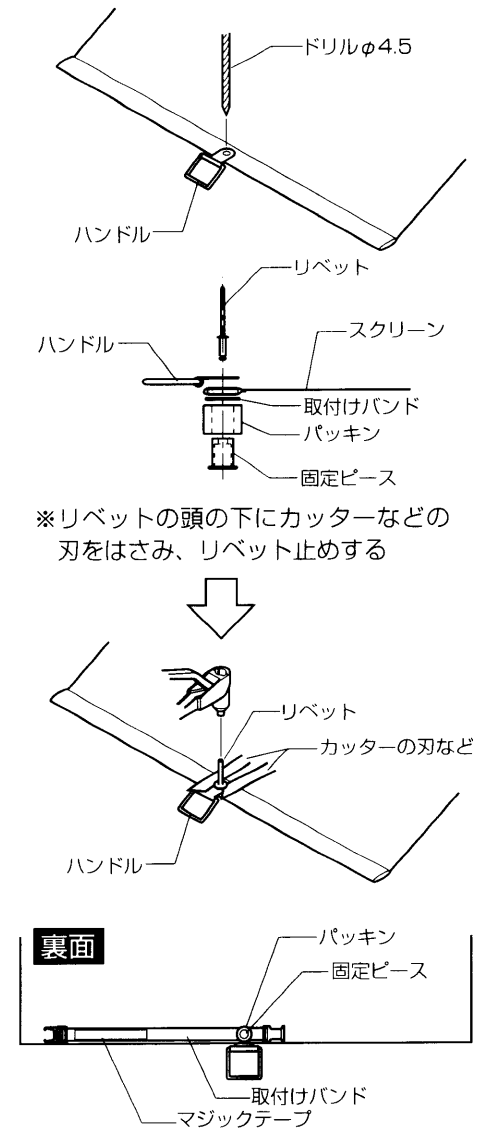
②取付けバンドを交換し、リベットφ4.8で固定します。

※ 固定する際は、リベットの頭にカッターの刃などははさんで行ってください。

〔壁付けタイプ〕

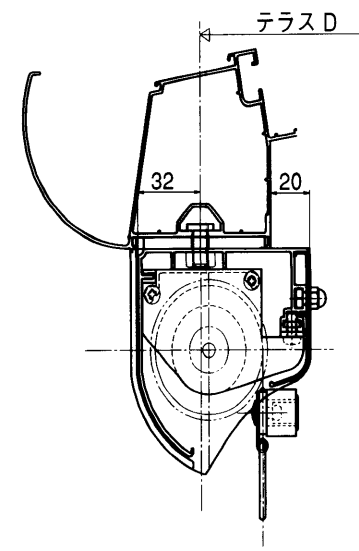
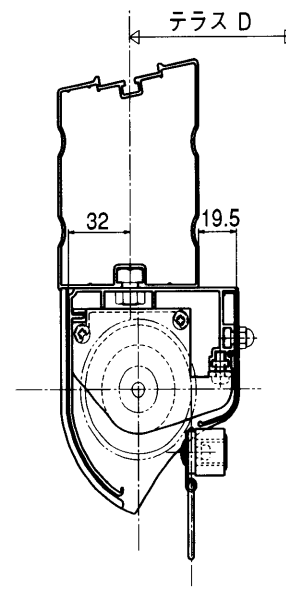
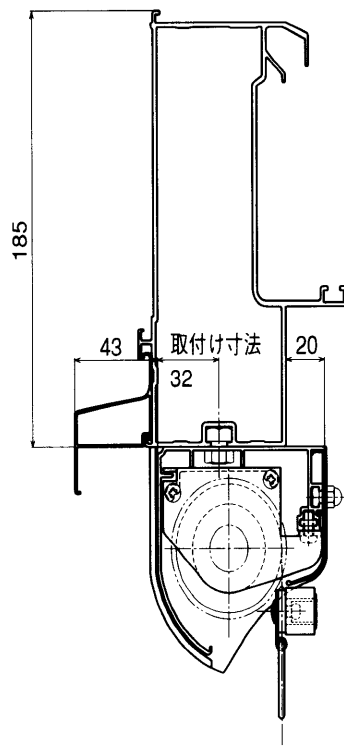
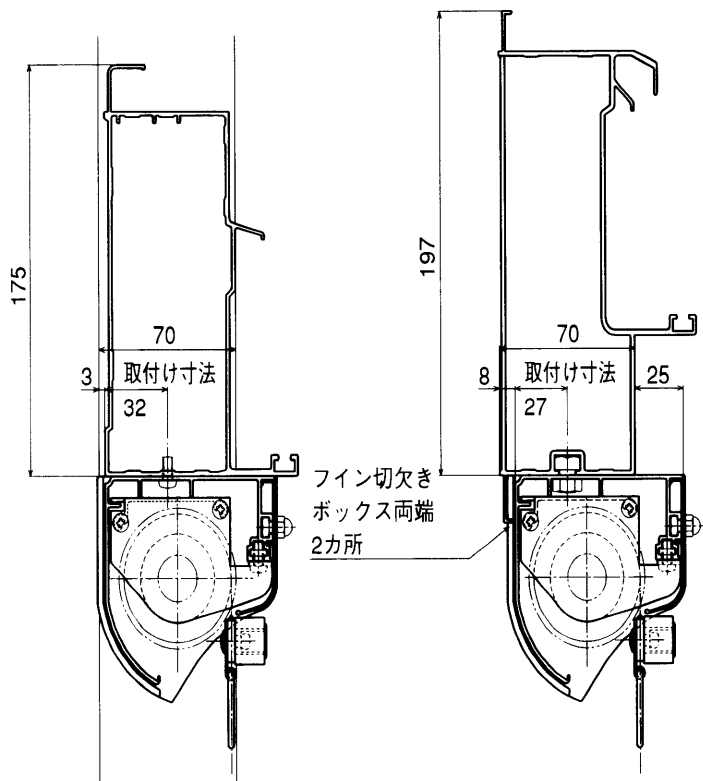
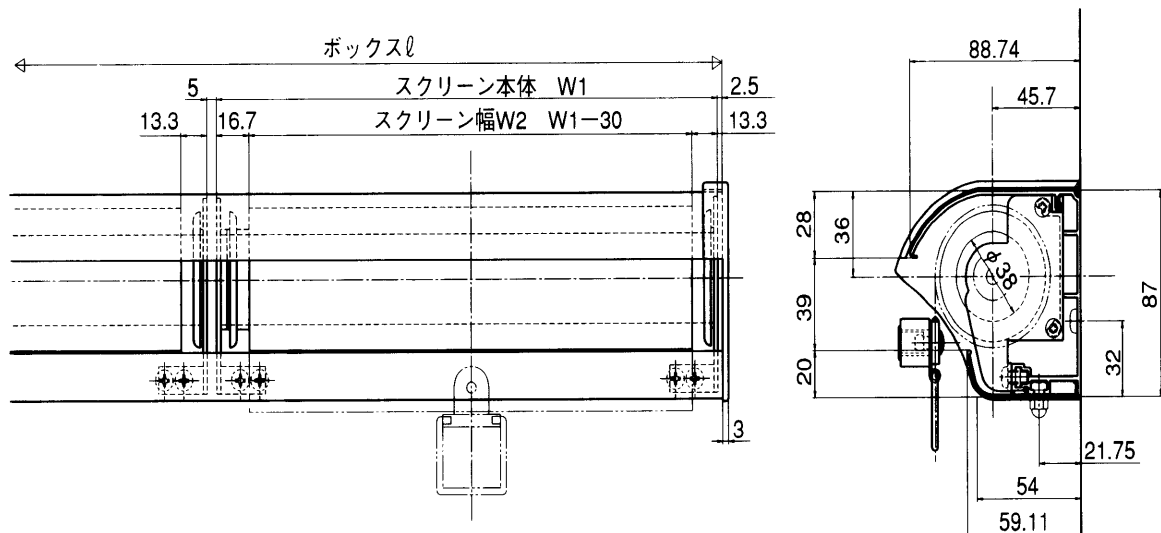


〔テラス取付けタイプ〕



参考納まり図

基本図



アクトステージ納まり

ブロードステージA型納まり

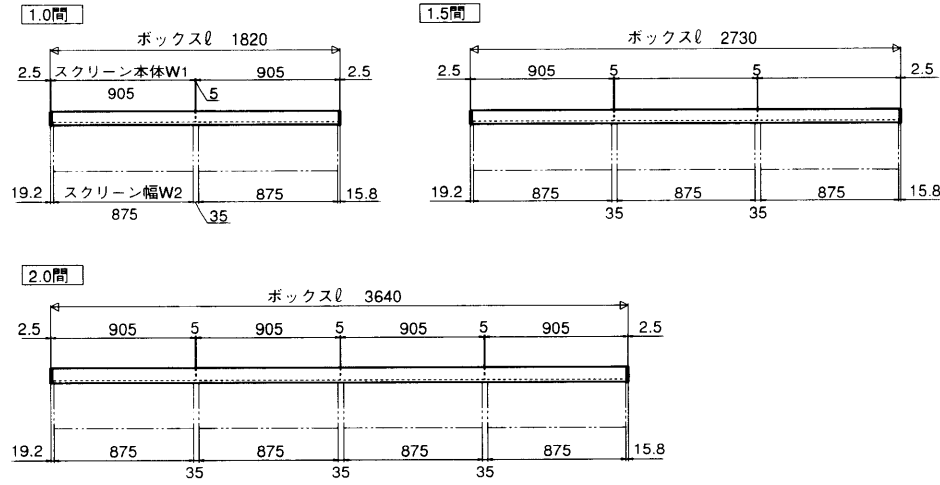
ブロードステージB、C型納まり

ナラテラス (桁仕様) 納まり

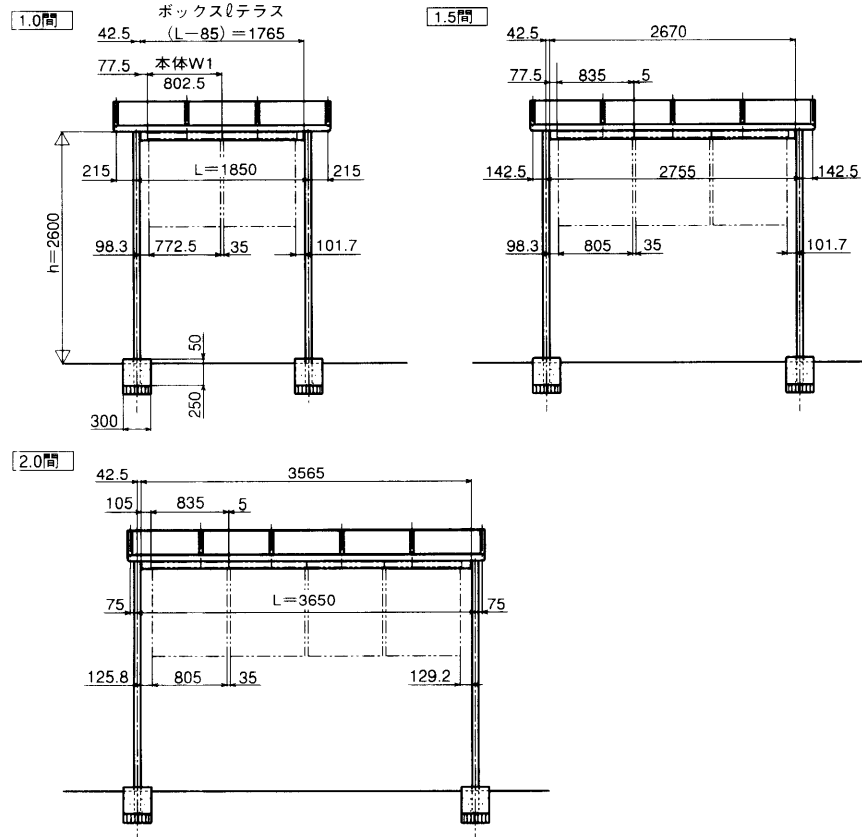
ライザー/セイバー/アルファテラス納まり

■ 姿図

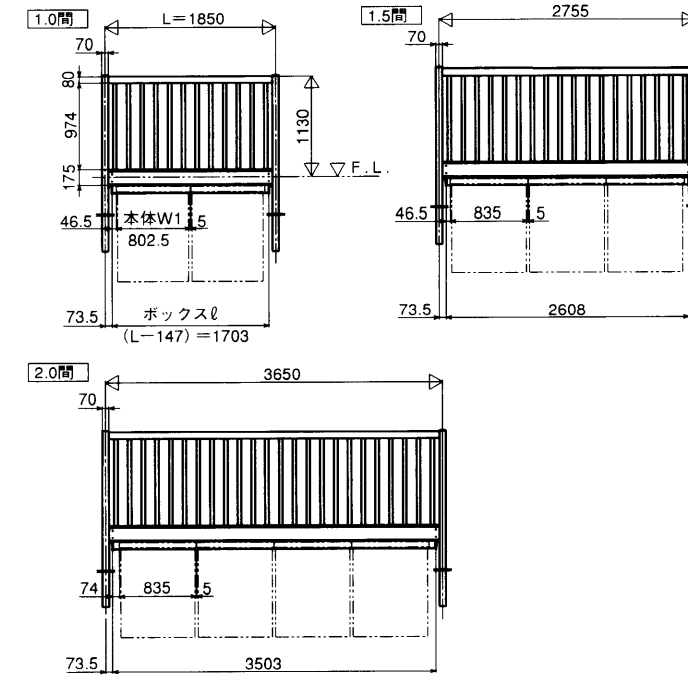
● 壁付けタイプ



● テラス取付けタイプ



● アクトステージ取付けタイプ



● ブロードステージ取付けタイプ

